1.

「大ぼけ小ぼけ」を楽しく拝見しました。
百里は遥かに遠くお里を離れて流れ行くのですが、有難く
いま手にしてゐることだけで充分お伝へしようと考へてゐる
ところへ、図らずも高尾の紅葉の絵はがきで、語彙が
へんにかりました。思ひ出深い絵はがきでつくり
ませうね。

それにしても「大ぼけ小ぼけ」ならうまい語彙をつけ
られたものです。小ぼけの語彙ぬのやうな中間を選って
来てゐる君には、寂しみがあります。肉声を接見して
わ々紛れるほかはなくらゐでしたが。
「うるぎ・うるぎ」の連用さんのお話は愉快でした。
「満寿夫三十三回忌」を読み終つたら、「ミス・

214-□□
川崎市多摩区
三田五ノ九〇八八
佐野洋三